

平成 31 年度 環境技術産学公民連携公募型共同研究事業の研究テーマを募集します！

川崎市では、多様化、複雑化する環境課題の解決に向けて、企業・大学・研究機関等の多様な主体と連携し、先進的な環境技術やネットワーク等を活用した共同研究事業に取り組んでいます。

この事業では、共同研究者に対して研究に必要なフィールドの提供や研究費用の一部支援などを行うことで新たな環境技術等の研究・開発を支援し、その成果を市内の環境改善につなげることを目指しています。

この度、平成 31 年度の共同研究事業を次により募集します。



1 募集対象事業

「低炭素社会の構築」、「循環型社会の構築」、「自然共生型社会の構築」、「安全・安心で質の高い社会の構築」の 4 分野のいずれか又は市が指定した研究テーマ（湖沼等の閉鎖性水域における水質改善に関する技術実証）に該当し、次のいずれかの成果が期待できるもの

- ・共同研究の成果が、市内に還元でき、地域の環境改善につながるもの
- ・共同研究を通じて、川崎発の環境技術開発・環境関連研究を促進するもの
- ・共同研究の成果が、環境技術・環境研究の市内集積につながるもの

2 申請者の主な要件

○環境技術についての研究を実施するに足りる十分な能力を有し、市をフィールドとした環境技術に関する研究を推進できるもの

○企業、大学、研究機関などとし、いずれも法人格を有するもの（単独申請可） 等

3 募集期間 平成 31 年 4 月 22 日（月）～平成 31 年 5 月 20 日（月）（必着）

4 研究期間 平成 31 年 6 月頃～平成 32 年 3 月
※本研究事業は、申請当初に設定した研究スケジュールに基づき、最長で平成 33 年度末まで研究を継続実施することができます。
（次年度以降の研究実施には、年度毎に実施する継続審査にて継続が認められる必要があります。平成 33 年度末までの研究実施を保証するものではありません）

5 研究費用 上限 200 万円の範囲内で研究を委託します。

6 申請方法

必ず事前相談のうえ、申請書類を環境総合研究所 都市環境課に提出してください。

【ホームページ】 <http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-3-8-5-6-2-0-0-0-0.html>

【問合せ先】

川崎市環境総合研究所 都市環境課 入江
〒210-0821 川崎市川崎区殿町 3 丁目 25 番 13 号
川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 3 階
電話 044-276-8964 FAX 044-288-3156
e-mail 30sotosi@city.kawasaki.jp

【募集する研究事業】

【研究分野（4分野）】

研究テーマの参考例

低炭素社会の構築

低炭素・温暖化対策に関するもの等

- ・工場排熱等の低減や省エネを実現するための排熱を有効利用する製品や技術の開発 など

循環型社会の構築

資源循環に関するもの等

- ・3Rや適正処理に関するシステムや技術の開発
- ・ICT活用による災害廃棄物発生量の推計 など

自然共生型社会の構築

生物多様性・環境保全に関するもの等

- ・都市部における自然環境保全に関する研究
- ・未利用地を活用した緑化推進に関する研究 など

安全・安心で質の高い社会の構築

環境リスクの低減に関するもの等

- ・ヒートアイランド対策に関する製品や技術の開発
- ・化学物質の保管設備の点検手法に関する開発 など

【市が指定した研究テーマ】

【研究テーマ】 湖沼等の閉鎖性水域における水質改善に関する技術実証

【実証場所】 生田緑地（多摩区枳形7丁目）内 奥の池（予定）

【実証技術の要件】

- ・実証場所における在来生物の生息環境に悪影響を及ぼさない環境技術であること
 - ・実証場所の環境や公園利用に悪影響（著しい騒音等）を及ぼさない環境技術であること 等
- ※その他にも諸条件があります。詳しくは当研究所に事前相談をお願いします。**

【実施中の共同研究事業の一例】

● 溶融噴射式遮熱塗料の効果検証／信号器材 株式会社 （平成29年度～）

[研究分野] 安全・安心で質の高い社会の構築

地球温暖化に関する適応策については、多種多様な取組が進められているものの、夏季の熱帯夜、真夏日日数の増加などが毎年話題となっており、ヒートアイランド対策が課題となっています。

この研究では、溶融噴射式遮熱塗料（カラー塗料）の実用化に向け、その遮熱効果、耐久性等について、年間を通じて検証を行っています。



川崎市のブランドロゴをイメージした路面塗装

企業

- ・路面標示に関する知見
- ・路面塗装の技術

川崎市

- ・実証フィールドの提供
- ・暑熱緩和効果に関する測定

【目指す成果】

企業

- ・遮熱塗料の改良・実用化

川崎市

- ・ヒートアイランド対策など、市内の暑さ対策の推進
- ・川崎発の環境技術・製品開発の促進